

株やまびこ横須賀事業所見学

横須賀市 環境政策部
環境管理課 嘉山 晃

「バースデイメニューに満足！」

午前中の前田川の調査に引き続き夏島町にある株やまびこ横須賀事業所を訪れる。参加 16 名は分乗した車で 12 時すこし前に同社に到着。

入口付近では、見学説明をしていただく同社の担当の方々が丁寧に迎えてくれた。広い会議室をパーティションで仕切った一角でまずは食事。

同社で毎月誕生月の社員に提供するバースデイメニューと同じ（ただし、ケーキ抜き）で豪華、高カロリーなメニューをビュッフェでいただく。取り分け人数とメニューの量を瞬時に判断し、いつも通り 1 皿に多量の料理を載せてしまい、全て食べた後の満腹感に満足と反省を感じる。



～ 会社概要について（櫻管理課長）～

量、味とも満足した状況で会社の概要説明等を聞くが、ビデオ上映のため少し部屋の明かりが少なくなった時点でしばし夢の中に、さらに反省が強くなる。

見学は、エンジンの主要部分のシリンダケースの製造工程から。

原材料として置かれたアルミのインゴットが隅に置かれていた。1本の長さが 80cm 位あるが、片手で持ち上げられた。インゴットを 700℃で溶解し、型枠に流し込む機械が動いている。型枠に流し込む容器から外側にあふれたアルミは、表面だけ凝結し銀幕を張るように光が反射する。場内ははんだごとと焼ける機械油の臭いが混ざっていた。



～ 小型エンジンに興味深々～

「シリンダー内部にスチームメッキ加工」

シリンダケースのメッキ工程を見学

アルミは軽いが、耐熱、強度に不安がありエンジンの主要部分に不向きではないかと考えていたが、シリンダー内部にスチールメッキを施すことによりピストンの動きを円滑する役目と強度等を増す役目を同時に担う重要な工程とのこと。

クランクシャフトの鍛造工程の見学

工場建屋外側に液体窒素の容器が並んでいた。クランクシャフトはエンジンの上下運動を回転運動に替える部品で、強度と弾力性が必要な部品からアルミではなくスチール製になっている。鋼の鍛錬と同じく熱を加え圧力を加える。急冷するのがマイナス約 200℃の液体窒素を利用というのが近代の工業というべきか。

各部品の仕上げ工程を見学

回転軸のセンター穴あけやシリンダーヘッドの吸排気口のエッジ取りなど専用の機械が並んでいる。シリンダーヘッドの仕上げ工程機械は部位毎に機械が異なるため 20m 位の直列に並んでいるが、1つではなく 3つの工作機械メーカーの機械が組み上げられているのが珍しい。製品開発に関わる意欲と努力が見えてくる。

組立工程を見学

手作業とロボットによる作業が並んでいた。各部品が製品となって組み立てられるのが興味深い。

休憩を挟んで作業の実体験を行う。

エンジンの外側にビスを入れる穴を開ける作業。穴